

## ☆今月の内容

### 特集

あいち産業科学技術総合センター 平成24年度事業計画  
●運営方針／事業計画（産・学・行政連携の推進、研究開発の推進等）

## 《トピックス》



新年度を迎え、ご挨拶を申し上げます。

昨年3月の東日本大震災からすでに1年が経ちました。被災地の復興も徐々にではありますが支援活動による整備が進み、関係する皆様のご努力とご尽力に感謝するとともに、1日も早い完全復興を心からお祈りしております。

さて、日本経済は少しずつ明るさが見えてきました。しかしながら依然として電力安定の問題や高い水準での円高、さらに海外では、ギリシャ経済危機に端を発したユーロ危機など、国内外で未だ激動、波乱の状態が続いております。

日本は、優れた加工技術とモノづくりのアイデアを持つ中小製造業が集積し、その集積の上に大企業の高度な技術とブランド力が加わって、優れた製品を世界に送り出し続けてきました。その日本の産業経済を支える愛知の責務は、多くの企業の方々を支援することによる県内経済の活性化であります。

愛知がこれからも持続的な成長を遂げていくには、「産業技術及び科学技術」の発展が不可欠であり、まさにこの「あいち産業科学技術総合センター」が次世代モノづくりの研究開発拠点として、産・学・行政連携による共同研究開発から試作・評価まで幅広い技術支援を行っていく考えであります。

当センターでは、高度な計測分析機器による研究開発支援や共同研究開発プロジェクトを進めており、今年度中には公益財団法人科学技術交流財団が管理・運営する、ナノテクノロジーを用いた研究開発に不可欠な「中部シンクロトン光利用施設（仮称）」もオープンする予定です。

この愛知の新しい技術のランドマークとしての「知の拠点」づくりを進めるとともに、引き続き、従来からの相談・指導、依頼業務などを充実させ、企業の皆様に信頼され、お役に立てる技術支援機関としての職責を全うし、「世界と闘える愛知・名古屋」の実現に一層寄与してまいりたいと存じます。今後とも、なお一層のご利用をお願い申し上げます。

平成24年4月

あいち産業科学技術総合センター  
所長 中野達夫